

平成 22 年 5 月 11 日

ご投資家の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

**「野村エマージング債券投信(通貨選択型)」の「毎月分配型」
2010年5月10日(第5回)決算の分配金について**

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「野村エマージング債券投信(通貨選択型)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、「毎月分配型」の各ファンドにおける2010年5月10日(第5回)決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、当ファンドは平成22年1月18日以降のお買付のお申込受付を一時停止させていただいております。

敬具

第5期分配金 (1万口当たり、課税前)

・毎月分配型

	円コース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース
安定分配額	50 円	80 円	120 円	105 円
追加分配額	0 円	0 円	0 円	0 円
合計額	50 円	80 円	120 円	105 円

*当期においては基準価額の水準を勘案し、追加分配を見送ることいたしました。

5月決算時における追加分配について

当ファンドは、毎年5月および11月の決算時において、毎月の安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。当期につきましては基準価額水準等を勘案し、追加分配を見送ることいたしました。

なお、追加分配に関しましては、今後の継続的な実施のため、各コースの安定分配額を上限とし、かつ分配後の基準価額が一定の額を下回らない水準以内で行うことといたします。

引き続きご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

分配金額は、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

第1期～5期の運用経過

当期間のドル建てエマージング債券市場(参考指標:JP モルガン EMBI グローバル・ダイバースィファイド)は5ヵ月連続で上昇しました(米ドルベース)。ギリシャの財政危機を受け、ユーロ圏の一部の国で国債価格が急落するなど、財政赤字への注目が高まった先進国の国債市場とは対照的に、エマージング債券市場は、相対的に健全な財政状態や景気拡大の持続などを反映して堅調な推移となりました。

今回のギリシャ問題は本年初から投資家の注意を集めておりましたが、これを反映して、最近の弊社グループ会社のポートフォリオ運用には、下記の特徴があります。

信用格付けの注視

格付け別債券の構成比は相対的に上位の格付けの債券の比重を高めております。実際、BBB格以上の債券の構成比は1月末の40%から4月末には47%に増やす一方、B格以下の債券の組入れ比率は同じく20%から15%に減らしております。

商品市況のインパクト

国際的な信用の収縮が進んだ場合にはリスクマネーの減少を通じて商品市況の軟化につながり、ひいては一次産品輸出への依存度が比較的高い国にマイナスの影響を及ぼすことが懸念されます。この点には引き続き注意が必要とみております。

外部ショックへの耐性、過去の危機からの教訓

新興国は経済体質、財政基盤の充実により、以前ほどは外部的な金融危機の影響を受けにくくなっていると認識しており、財政・金融政策の舵取りもインフレを抑制しつつ巡航速度の景気拡大を図るものとなっていると捉えております。

現地通貨建て債券から米ドル建て債券へのシフト

前述のような国際的な信用不安が新興国通貨の一時的な調整につながる可能性もあるため、現地通貨建て債券への比重を一旦下げております。

今後は、国際的にみて投資家のリスク選好度合いがさらに低下する可能性もあるだけに、通貨リスクや財政リスクの観点から、先行き予断を許さない状況が当面は続くと思われられます。しかしながら、中長期的には、下記の点から新興国の債券に投資機会を見出す余地が大きいと考えています。

新興国の財政収支、対外収支が過去に比べ大幅に改善し、信用格付けが総じて向上し安定していること

新興国は経済体質、財政基盤の充実、金融財政政策の洗練度向上により、先進国対比でも高い経済成長率が予想されていること

主要先進国の低インフレ、低金利が持続すると予想される一方、相対的に高利回り債券の投資魅力の高い状況が想定されること

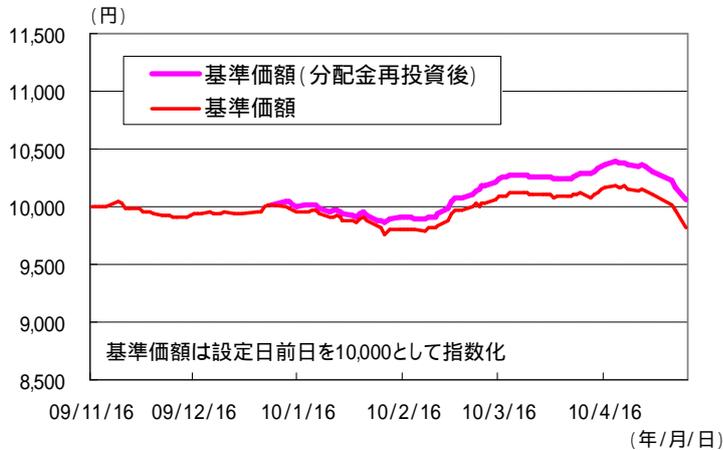
当ファンドの各コースが投資対象としている「エマージング・マーケット・デット・ファンド」(ケイマン籍円建外国投資信託)は2010年4月末現在でエマージング債券の組入数は134銘柄、債券の組入比率は94.9%となっております。

出所:キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー

基準価額の推移 (2009年11月17日(設定日)~2010年5月10日)

基準価額の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。

円コース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

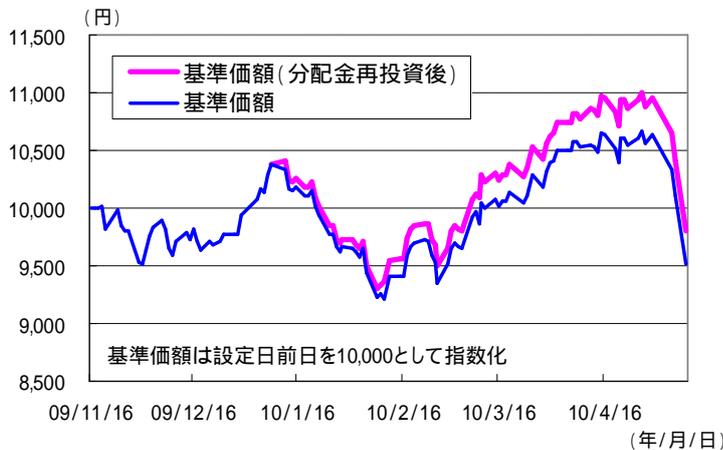
	決算日	分配金
第1期	2010/1/12	50 円
第2期	2010/2/10	50 円
第3期	2010/3/10	50 円
第4期	2010/4/12	50 円
第5期	2010/5/10	50 円
設定来		250 円

1万口当たり、税引前

2010/5/10

基準価額	9,814 円
純資産総額	107 億円

豪ドルコース(毎月分配型)



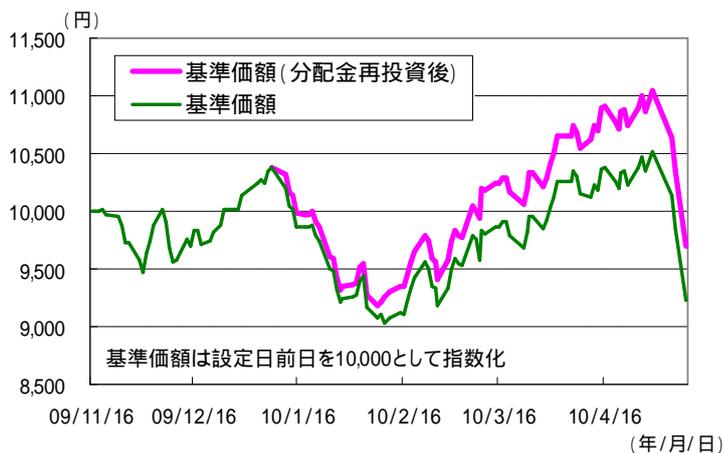
	決算日	分配金
第1期	2010/1/12	75 円
第2期	2010/2/10	75 円
第3期	2010/3/10	75 円
第4期	2010/4/12	80 円
第5期	2010/5/10	80 円
設定来		385 円

1万口当たり、税引前

2010/5/10

基準価額	9,520 円
純資産総額	255 億円

ブラジルリアルコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

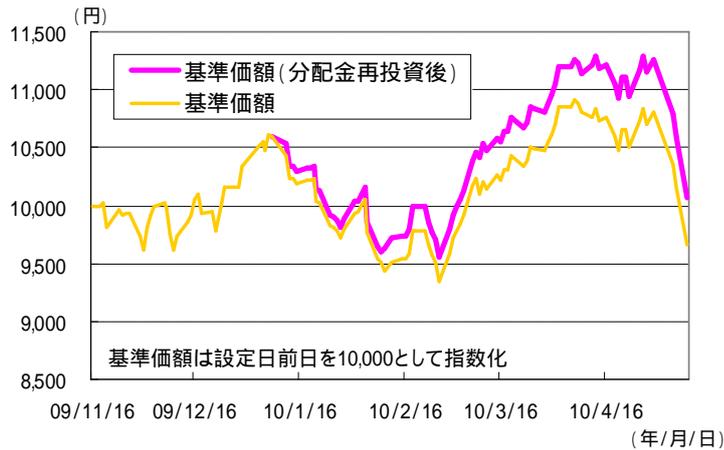
	決算日	分配金
第1期	2010/1/12	120 円
第2期	2010/2/10	120 円
第3期	2010/3/10	120 円
第4期	2010/4/12	120 円
第5期	2010/5/10	120 円
設定来		600 円

1万口当たり、税引前

2010/5/10

基準価額	9,230 円
純資産総額	3,184 億円

南アフリカランドコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第1期	2010/1/12	105 円
第2期	2010/2/10	105 円
第3期	2010/3/10	105 円
第4期	2010/4/12	105 円
第5期	2010/5/10	105 円
設定来		525 円

2010/5/10

基準価額	9,663 円
純資産総額	48 億円

分配方針(毎月分配型)

毎月 10 日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。

収益分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として配当等収益を中心に安定分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。また、毎年5月および11月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。ただし、必ず分配を行うものではありません。

収益分配に充てず投資信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

販売会社の名称等

販売会社	登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
野村證券株式会社 金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号			

加入協会に 印を記載しています。

本資料はご投資家の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

当ファンドのお申込に際してのご留意事項

当ファンドの投資リスクについて

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに生じた利益および損失は、全て投資家に帰属し、投資元本が保証されているものではありません。また、収益や投資利回り等も未確定の商品です。投資にあたっては、以下に記載したリスク要因を十分にご理解のうえ、慎重にご判断くださいますようお願いいたします。

当ファンドの基準価額に影響を与える主な投資リスク

<マネープールファンド(年2回決算型)を除く各ファンド>

「金利変動リスク」「信用リスク(クレジットリスク)」「カントリーリスク」「為替変動リスク」

<マネープールファンド(年2回決算型)>

「金利変動リスク」「信用リスク」

当ファンドのリスクは上記に限定されるものではありません。

当ファンドに係る費用について

【お客様には以下の費用をご負担いただきます。】

ご購入時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料・・・お買付価額に対して 3.15%(税抜 3.00%)

(マネープールファンドのお買付はスイッチングによる場合のみとします。)

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬等：各ファンドにつき、投資信託財産の純資産総額に対して下記の率を乗じて得た額

マネープールファンドを除く各ファンド・・・年 0.924%(税抜 0.88%)

実質的にご負担いただく信託報酬率・・・年 1.674%程度(税抜 1.63%程度)

(信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値)

マネープールファンド・・・年 0.5775%(税抜 0.55%)以内

監査報酬：各ファンドにつき、投資信託財産の純資産総額に対して下記の率を乗じて得た額

マネープールファンドを除く各ファンド・・・年 0.0084%(税抜 0.008%)

マネープールファンド・・・年 0.00525%(税抜 0.005%)

その他：有価証券の保管費用、売買時の売買委託手数料等がかかります。

その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

スイッチング時にご負担いただく費用

スイッチング手数料・・・お買付価額に対して 1.575%(税抜 1.50%)

(マネープールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)

ご換金(スイッチングのためのご換金を含む)時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額・・・換金申込日の翌営業日の基準価額に対して 0.3%の率を乗じて得た額

(マネープールファンドには信託財産留保額はかかりません。)

ご換金手数料・・・ありません。

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。